

田子一民 （おとこいち） 政治家。明治十四年十一月十四日岩手縣生れ、昭和二十八年八月十五日歿（八二—一九三三）。筆名むらさき、紫琴。明治四十一年東京帝國大學法科大學政治學科卒。内務省入省、三重縣・岩手縣各知事等を経、昭和二年衆議院議員（當選九回）、十六年衆議院議長。この間協調會、中共教徳會各理事。戰後農相に就任。また妻翁

江（明治十六年十一月生れ）は、白水社を創業して福圓易之助の實妹で、「夫妻となりて」（大正六年九月）二十日白水社）の著がある。
著書に『郡に在りし頃』（大正二年六月八日自刊、中央報徳會發賣）、『日本社會專業總覽』（合著・社會專業研究所編、昭和二十九年五月五日日本社會專業調查會）、『米内光政追想録』（合著、昭和二十六年二月十一日米内光政銅像建設會）等。

